

日本企業における知財戦略 —新たなビジネスモデルのもとでの 知財戦略構築のために—

日時
平成 24年 9月 7日 (金)
10時～16時10分 (開場9時30分)

「競争」の時代。日本企業はどう生き残るのか？

「競争」の時代。過去の知財手法の破綻、競争の激化、プレーヤーが変化する今を、日本企業はどう生き残るのか？その為には、技術を収益に結びつけていくための戦略が必要になる。

本研修会では、産学官から第一線でご活躍の講師をお迎えし、それぞれの立ち位置から最新状況の解説をいただいた後、パネルディスカッションで、ビジネス環境の変化、ビジネスモデルの変化のもとでの知財戦略構築はどうあるべきかを豊富な具体例を取り上げ、ご議論戴きます。

是非、この機会に多数ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

日本弁理士会会員の皆様へ

(財)経済産業調査会は、日本弁理士会の継続研修を行う外部機関として認定されています。この研修は、日本弁理士会の継続研修として認定を申請中です。この研修を修了し、所定の申請をすると、5単位が認められる予定です。

講師:

兵庫県立大学 経営学部 准教授
東京大学 ものづくり経営研究センター
特任研究員 **立本 博文 氏**

経済産業省 産業技術環境局
基準認証ユニット 基準認証政策課
課長補佐 **永野 志保 氏**

シズベルジャパン株式会社
相談役 **二又 俊文 氏**

場所: 銀座会議室(三丁目)6階C室

東京都中央区銀座3-7-10 松屋アネックスビル
(東京メトロ銀座線・日比谷線銀座駅下車A12番出口より徒歩約2分)

参加料:各1名につき(資料代・消費税込)

特別会員	普通会员・ 知財会員	特許ニュース 購読者	一般
10,000円	15,000円	18,000円	23,000円

1. グローバル時代ービジネスモデル潮流の変化とその影響

グローバルマーケットの現出や欧米の新たなビジネスモデルの興隆に加え、韓国、中国企業の台頭によるプレーヤーの変化がビジネスモデルの変化をもたらすなか、知財マネジメントに与えている影響を俯瞰し、新たなモデルの展望を語り、将来の知財マネジメントについての示唆を行います。

2. 標準化戦略に連携した知財マネジメントー企業の取組

経産省では知財戦略（含・出願戦略）と標準化戦略の連携に関する先行事例を収集し調査結果としてまとめましたが、その調査結果に基づきオープンクローズ戦略のポイントについて解説を行いつつ、今後企業の進む道・採るべき戦略を聴講者の皆様とご一緒に考察してまいります。

3. 海外先進的企業の実例ー競争としたたかな準備

海外の先進的な企業では知財の活用方法が大きく変化しています。サムスンや欧州企業の知財戦略の実例を材料に、勝ち組の企業がとる知財戦略について、いかにポートフォリオを形成し、活用しているかを豊富なライセンスプログラム運営の実務経験を踏まえ、具体的に語ります。

4. パネルディスカッション

ーグローバル競争の時代における知財戦略はどうあるべきか

海外で新たな企業群が台頭するなかエレクトロニクスなどの製造業に顕著な日本企業の存在感の低下。情報の偏在、標準規格特許が高める特許の価値。ビジネス環境、ビジネスモデルの変化が早まる中で、企業経営の観点から知財戦略構築における組織の課題、またそれに資する人材育成についてそれぞれの報告をふまえて今後の企業における知財戦略を議論します。

最新のセミナー情報がご覧になれます

<http://www.chosakai.or.jp/seminar/seminar-annai.htm>

経済産業調査会 セミナー

検索

「日本企業における知財戦略」参加申込書（H24.9.7開催）

ご所属名		電話
		FAX
ご住所 〒		
参加者		
お名前	部署名	E-mail

お名前	部署名	E-mail

お名前	部署名	E-mail
備考欄		
申込先	FAX : 03-3535-4884	財団法人 経済産業調査会
	E-mail : seminar@chosakai.or.jp	〒104-0061 東京都中央区銀座2-8-9
		電話 03-3535-4881